

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|--|----------------------------|------|-----------------------|-----------------------|
| 活性化計画名 | 伊保沼地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 実施期間 |
| 栃木県 小山市 | (栃木県) 90000 (小山市) 92088 | 1 | 平成 23 年度 ～平成 27 年度 | 平成 23 年度 ～平成 27 年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 伊保沼地区活性化計画は、伊保沼地区の 720ha を計画区域とし、農業用排水施設整備や農道整備により条件整備された農地が増加することによって、効率の良い作業形態を確立し、農業生産性を向上させることで農業所得の増加及び農業経営の安定化が図られ、ひいては農家戸数の減少を抑制し、当該地域の活性化に資する。 | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率 (%) B / A | 備 考 |
|--------------------------|--------|--------|------------------|-----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 53.5ha | 53.5ha | 100% | |

| |
|--|
| (コメント) 計画作成時における目標値を 100%達成できた。 また、本計画は平成 28 年の本地区における農家戸数を平成 22 年の 353 戸から 28 戸減の 325 戸にとどめることを目標にしていたところ、平成 28 年 8 月の小山市農地基本台帳によれば、農家戸数は 16 戸減の 337 戸となっている。 当該地区の整備により、生産性の高い農業基盤が確立したことで、今後においても地域住民の定住化に寄与すると思われる。 |
|--|

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|---|--|----------|------------------------------|
| 農業用排水施設 <伊保沼地区> 農業用道路 <小宅地区> <黒本地区> <大本地区> | U 型排水路工 L=719m (900×900、1200×900) 道路工 L=1,464m W=5.0m 道路工 L=1,410m W=5.0m 道路工 L=884.3m W=6.0m | | 小山市 小山市 小山市 小山市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 排水路：小山市 美田東部土地改良区 道路：小山市 | 平成 23 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年 4 月 1 日 |

事業の効果

農業用排水路整備及び農業用道路整備の完了により、農作業の効率化、荷傷みなどの防止、施設維持管理の省力化が図られ、安定的な農業経営の確保に寄与している。

3 総合評価

(コメント)

《栃木県》

本地区は、水稻・麦・野菜等の生産が盛んな地域であるが、農道は狭小で砂利道であり、農業用排水路も土水路であるがゆえ法面の崩壊等営農・維持管理に多大な支障となっていた。近隣には大型乾燥調整施設も整備されており、本整備により輸送環境等が整い、農業経営の安定化・効率化が図られ、大いに地域の活性化に繋がるものと期待できる。

《小山市》

本事業により、農業用排水路整備及び農道の舗装整備を実施したことで、維持管理の軽減や農作業の効率化が図られ、安定的な農業経営の確立に寄与し、ひいては地域の活性化につながるものと思われる。

4 第三者の意見

(コメント)

当地域には大規模ライスセンターが設置され、米麦を中心とした大型機械の導入等により、集荷場等への輸送、農作業の効率化を進める上で、本事業は市北西部の農村活性化対策として有効である。さらに、イチゴ・ブロッコリー・加工トマト等の園芸作物の市場流通の利便性向上にもつながっている。